

「Bridgea GATEWAY」および「onti」  
IHE<sup>※1</sup>-J2024 コネクタソン接続実証試験<sup>※2</sup>に合格

PDRファーマ株式会社(本社:東京都中央区/代表取締役社長:村上 雅人)は、当社が販売する「Bridgea GATEWAY<sup>※3</sup>(医療データ通信ソフトウェア)」および「onti<sup>※4</sup>(医療被ばく線量管理システム)」が「IHE-J2024 コネクタソン」の接続実証試験に合格し、IHE 規格に準拠していることが証明されましたことをお知らせいたします。

【IHE 規格準拠によるメリット】

- ① 信頼性: IHE 規格に準拠した製品のため、安心して導入・運用いただけます。
- ② システム互換性と業務効率化: 標準規格で接続することにより、異なるシステム間のデータ交換をスムーズに行えます。このため、医療業務の効率化、労力・費用の軽減が図れます。
- ③ 拡張性: 将来的なシステム拡張や他のシステムとの統合が容易になります。また、より多くの選択肢から最適なシステムを選ぶことが可能です。

当社は、「IHE-J コネクタソン」に 2022 年度から参加しており、医療情報システム標準化に積極的に取り組んでおります。放射性医薬品の供給に加え、今後も情報管理に関する課題を解決するための、データやデジタル技術を駆使した医療 DX と組み合わせたトータルソリューションを提供してまいります。

※1 医療情報システム間における相互接続を推進し、医療情報の標準化を推進する国際的なプロジェクトです。

※2 コネクタソンは「コネクト」と「マラソン」を合わせた造語で、年に一度、IHE 対応製品を目指すシステムや機器を一同に集め数日間に渡り接続実証試験が行われる。

※3 放射性医薬品の自動投与装置。

※4 医療被ばく線量の電子記録・管理・最適化を支える情報システムで、医療被ばく線量の情報の取り扱いに関する国際標準データフローに準拠する製品。

## **PDRファーマについて**

PDRファーマ株式会社(2022年ペプチドリームグループに参画)は、1968年に事業を開始して以来、放射性医薬品領域の先駆者として、放射性医薬品等の研究開発・製造・販売等を通じて高品質な放射性医薬品を提供してまいりました。現在 22 品目の放射性診断薬(SPECT 診断薬および PET 診断薬)、及び8品目(3製品カテゴリー)の放射性治療薬を国内で販売しております。さらに、PDRファーマとペプチドリームは国内およびグローバル・マーケットに向けた放射性診断薬、ならびに放射線治療薬の広範なパイプラインを開発しています。詳細については、<https://www.pdradiopharma.com/>をご覧ください。

**【本リリースに関するお問い合わせ先】**

PDRファーマ株式会社 総務部 村上

E-mail: s-info-hq@pdradiopharma.com